

検索方法には、(1)あらかじめ検索条件として設定しておく、(2)いったん検索を行った後に絞りこむ、(3)研究デザインタグが付与された文献自体を検索する、以上、3種類の検索方法がある。あるいは、「ランダム化比較試験/RD」のように、研究デザイン

の後ろに「RD」を付与して検索を実行すると、該当のタグが付与された文献が検索されます。このように、研究デザインのタグが付与された文献自体を検索する方法もあります。これらを実施し、文献数の変化を年毎に出すと、以下の通り(図4)。

図4 タグ付けされた文献数

データ作成年	メタアナリシス	ランダム化比較試験	準ランダム化比較試験	比較研究	診療ガイドライン
1999年	5	208	18	0	6
2000年	5	245	26	0	18
2001年	12	366	59	0	27
2002年	18	360	63	0	67
2003年	30	518	100	8,629	74
2004年	37	544	110	8,210	62
2005年	19	477	140	8,404	128
2006年	47	723	201	10,995	118
2007年	17	198	47	3,083	39
総計	190件	3,639件	764件	39,321件	539件

### C. 研究結果

図4に示された通り、研究デザインタグが付与されている文献数は、年々増え続けている。

### D. 考察

これらの研究デザインタグの文献数は今後も増え続けるであろう。それは、日本におけるEBMが浸透してきた証拠であるといえる。JHESにて、作成されたデータは英訳され、コクランセンターへ送付されており、現在も続けられている。この流れは、コストと、ベネフィットから、政策的も検

討されなければ、ならないが、まだまだ、検討段階であり、構造化抄録などの作成システムの構築も今後の課題であろう。

### E. 結論

EBM文献は、データを作成する段階から、考慮されて、しかるべきであろうが、データベースを提供する側での作業も不可欠である。このような段階を踏まえて、今後、どのようにシステム化するかが、課題となる。

## 研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Suzuki H, Nakayama T	A comparative analysis of clinical practice guidelines (CPGs) in Japan: with special interests to 20 GPGs we have encouraged its development	Abstracts of GIN Regional Conference	2006	PA-10	2006
鈴木博道、葉山和美、長瀬典子	EBMに基づく診療ガイドライン、診療ガイドライン開発：その情報科学的分析（続報）	第3回情報プロフェッショナルシンポジウム講演集	2006	101-104	Oct. 2006
鈴木博道	診療ガイドライン開発の場への立ち会い経験	第26回医療情報学連合大会講演集	2006	101	Nov. 2006
中山健夫	診療ガイドラインと患者の視点	第26回医療情報学連合大会講演集	2006	101	Nov. 2006
鈴木博道	診療ガイドライン開発支援のためのホームページ及びソフトウェアの開発	第26回医療情報学連合大会講演集	2006	147-148	Nov. 2006